



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 決勝レポート

### 2018/9/9 Rd-6 岡山国際サーキット

天候：雨 気温：21℃ 出走台数：19台

観客数：8日(土)5,400人、9日(日)8,000人 合計13,400人

シーズン終盤 第6戦 決勝を迎えた岡山国際サーキットは、秋雨前線の影響で豪雨となった。このため、予定より1時間遅れて始まった決勝レースは、雨量が多くセーフティーカー先導でスタートされる。しかし、コース上の雨量は一向に減ることなく、6周を終えたところで赤旗提示。その後、天候回復を待って1時間近く中断されたが、16時10分に、セーフティーカーランで再開。19台のマシンは隊列走行を続ける。

野尻選手、松下選手共に、12周目のセーフティーカーラン終了直後から前走車に対して積極的に仕掛けるが、水煙で視界が確保できず思うように近づくことが出来ない。

23周目の最終コーナーでアクシデントがあり、再びセーフティーカーが導入される。

27周目にレースはリスタート。この時点でポイント圏まであと1ポジションの9位まで浮上していた松下選手は、リスク覚悟で果敢に攻めるが、31周目にスピン車両があり3回目のセーフティーカー導入。そのまま70分間の最長レース時間を迎え、野尻選手4位、松下選手9位でチェッカーとなった。

#### 5：野尻 選手 4位 (HONDA 勢1位)

雨の量はとても多く、コースに留まることすらかなり困難な状態でした。赤旗中断やセーフティーカーが何度も導入されるなど、様々な展開がありましたが、集中力を切らすことなく、4位を守って走りきれたのは最低限できたと思います。ただトップ3台との差も感じていますので、チームとともに改善し、より強くなって最終戦鈴鹿に戻ってきます。

#### 6：松下選手 9位 (HONDA 勢2位)

通常のスタートのほうがチャンスあると思っていたのですが、雨はますます強くなっていましたので、セーフティーカー導入判断は正しいと思います。序盤は水煙で前が見えず、抜くのはかなり難しかったです。ただ後半は自分のペースと走り方を見つけて、そこからはいいスピードで何台かパスすることができました。車の状態は良かったので、どのような状況でも速く走ることができるように、ドライビングの改善をすることが課題ですね。

次戦の鈴鹿は、我々の得意とするサーキットで、いいパフォーマンスをお見せすることができると思います。十分に準備して臨みます。